

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（教育文化施設：稲童1号掩体壕史跡公園）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	福岡県行橋市大字稲童						
補助事業の成果の目標	本史跡は平成14年度に市の文化財に指定されたが、掩体壕周辺の整備がされておらず、利用者の史跡へのアクセスや見学時の利便性について苦慮している状況にあった。このため特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で広場や駐車場等、史跡周辺の整備を行い、史跡公園利用者の史跡見学を容易にし、交通アクセス等の利便性の向上を図るものである。						
補助事業の内容	【用地購入、史跡公園整備】 駐車場、公園広場工事 一式 用地購入 A=5,497.12㎡						
補助事業の始期及び終期	平成16年度から平成26年度						
事業費及び交付金額		16年度	19年度	22年度	25年度	26年度	計
	事業費	円 7,500,000	円 3,891,000	円 9,389,550	円 16,220,900	円 5,384,000	円 42,385,450
	交付金額	7,500,000	3,891,000	9,000,000	16,220,000	5,384,000	41,995,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業完了後、地域住民や利用者にはヒアリングを行ったところ、「見学時の利便性がよくなった」「交通アクセス環境が改善された」などの意見が得られ、交通アクセス等の利便性の向上に寄与することができた。 周知については案内板に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」および「防衛省補助事業」と表示した。 						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：行橋市道路維持作業車）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	福岡県行橋市中央一丁目1番1号						
補助事業の成果の目標	老朽化した道路維持作業車を買換え、車両の修理回数を減らすことで、経費削減、及び修理時における未稼働状態を解消し、稼働日数の向上を図り、安定的な道路維持パトロールを行うことを目的とする。 参考指標：平成25年度修理回数 11回						
補助事業の内容	道路維持作業車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 3,416,212	円	円	円	円	円 3,416,212
	交付金額	3,415,000					3,415,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了後、1年間の稼働日数を作業日誌により確認したところ、修理を行わずに稼働することができたため、稼働日数が向上しており、安定的な道路維持パトロールの実施が図れた。 ・車体に「特定防衛施設周辺整備調整交付金交付金」と記載し、地域住民への周知を図った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：塵芥車）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	福岡県行橋市東大橋5-26-1						
補助事業の成果の目標	現状の車輛は経年的損傷により作業能率が著しく低下しており、予備車として非常時のみ運用しているが現状の車輛を廃車し、新たに車輛を購入することにより常時運用し、ごみ収集車の稼働率の向上、および修理回数を減らすことによる経費の削減を図ることを目的とする。 参考指標 平成25年度 稼働日数 58日 稼働率 15.9%(58/365)						
補助事業の内容	塵芥車 1台購入						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 9,450,000	円	円	円	円	円 9,450,000
	交付金額	9,000,000					9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業完了後、1年間の稼働日数を作業日誌により確認したところ、稼働日数253日（稼働率69.3%）と向上し、修理回数も減少しており経費削減が図れた。 周知については車体に「特定防衛施設周辺整備調整交付金」と表示。 						
事業の改善措置及び今後の対応	なし						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：井無田・岩崎線）整備事業					
補助事業者名	行橋市長					
実施場所	福岡県行橋市大字稲童					
補助事業の成果の目標	本路線は、稲童の集落と幹線道路（県道門司行橋線）をつなぐ基幹道路であるが、平均幅員が2.5mと全線に亘って狭小であるため、計画区間全域で離合が困難である。このため、道路拡幅工事を行い、幅員を5.0mに拡幅することで、交通の円滑化、及び地域住民の利便性の向上を図ることを目的とする。					
補助事業の内容	改良工事 延長L=510.0m、幅員W=5.0m					
補助事業の始期及び終期	平成20年度から平成26年度					
事業費及び交付金額		23年度 まで	24年度	25年度	26年度	計
	事業費	円 30,665,000	円 11,311,150	円 9,907,400	円 11,926,280	円 63,809,830
	交付金額	30,665,000	11,238,000	9,773,000	11,926,000	63,602,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	道路改良が実施されたことから車両の離合が容易になり交通の円滑化、及び地域住民の利便性の向上が図られた。また、地域住民より「以前より車両の離合が容易になった」「幅員が広がり、歩行者の安全性が確保された」との意見が寄せられた。また、「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」であることを工事看板に明記することで、地域住民に防衛事業であることを周知することができた。					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分量及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（教育文化施設：給食配送車）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	行橋市東大橋6丁目8番1号						
補助事業の成果の目標	<p>現状の車輛は購入から約21年及び約16年が経過しており、経年劣化により燃料費等の維持費が嵩んでいる状況にある。また、現有車輛の規格は2t車であるが平成26年度より稼働している防災食育センターの給食配送用コンテナが以前のコンテナと比べ大型化し、約100kg重くなっていること、また、献立等の関係で1台のコンテナに積載出来る食数が減っていることから、現有の車輛では配送の効率が悪くなっている状況にある。</p> <p>このため新たに給食運搬車を購入し、維持費の削減及び規格を3t車にし、運搬車に積載出来るコンテナ数を増やすことで配送の効率化を図る。</p> <p>参考指標 1回の配送で運搬できる食数 ・現有車輛 840食/回 ・新規車輛 1,050食/回</p>						
補助事業の内容	給食配送車（3.0tトラック）購入 2台						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円	円	円	円	円	円
		12,312,000					12,312,000
	交付金額	12,312,000					12,312,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>事業完了後、作業日誌を確認したところ、燃料費等の経費が削減されていることが確認された。また、配送担当者へヒアリングを実施したところ「作業効率が向上した」との意見が得られた。</p> <p>周知の実施については、車輛に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」を明記し、地域住民へ周知を図っている。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：松原地区防火水槽）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	行橋市大字松原168-2						
補助事業の成果の目標	今回、防火水槽を設置する松原地区は、消防水利の未警戒区域があるばかりでなく、有効な水量の確保にも苦慮しているところであり、松原地区における消防活動の大きな不安要素となっています。このことから同地区の未警戒区域に防火水槽を設置することにより、警防力の強化とともに地域住民の安全と安心を確保する。 参考指標：設置前の未警戒区域の割合（10戸/19戸＝52.6%）						
補助事業の内容	防火水槽 I型 40t 1基						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 4,777,920	円	円	円	円	円 4,777,920
	交付金額	3,500,000					3,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	当該防火水槽を設置したことにより、地域における消防水利の未警戒戸数の減少（19戸/19戸＝100%）とともに地域の警防力が強化され、地域住民の安全と安心の確保に寄与することができた。また、住民へのアンケートで「地域の火災等への不安は改善した」との回答が寄せられた。周知については工事期間中の看板掲示や自治会等を通じての住民へ説明、市の広報誌やHP、フェイスブックに掲載するとともに、消防本部、消防団と住民参加型の消防訓練を実施した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基本事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯灯）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	行橋市 仲津校区ほか						
補助事業の成果の目標	経年による劣化・腐食等により機能に支障を来している防犯灯の取替え及び未整備箇所への新設を行い、生活道路や通学路の夜間における犯罪や事故を抑止し、住民の安心安全を確保する。						
補助事業の内容	防犯灯設置工事(623灯)(平成26年度まで)						
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		24年度 まで	25年度	26年度			計
	事業費	円 10,164,000	円 6,607,650	円 6,698,160	円	円	円 23,469,810
	交付金額	円 10,000,000	円 6,500,000	円 6,500,000			円 23,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民より「設置により、防犯及び交通等が安全になった」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。また、工事着手前の地域住民への回覧板に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」であることを明記し、地域住民に周知している。また、工事完了後、市ホームページに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」により防犯灯を新設、取替えした旨を掲載している。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：平島2地区農道）整備事業					
補助事業者名	行橋市長					
実施場所	福岡県行橋市泉中央6丁目					
補助事業の成果の目標	本地区は圃場整備がされていないため農道が整備されておらず、他の耕作者の農地を通り大型農機を搬入しており、農機通行時は農作業を中断したり、農作業が終わるまで待機するなど作業効率が悪く、大変苦慮している。調整交付金事業で農道を整備することにより、大型機械の進入を容易にし、農作業の効率の向上と農業経営の安定を図る。					
補助事業の内容	改良工事 延長L=246.1m 幅員W=4.0m					
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成26年度					
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度		計
	事業費	円 4,762,000	円 12,146,000	円 4,894,000	円	円 21,802,000
	交付金額	4,762,000	12,146,000	4,894,000		21,802,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	今回、整備を行った農道により農地へのアクセスが容易になり、利用開始した耕作者にヒアリングを実施したところ、交通の利便性・安全性の向上、農作業の効率の向上を実感しているとの回答を得た。地域住民に対しては、地元説明会、工事看板で特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを周知している。					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分量及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：竹並地区水路）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	福岡県行橋市南泉6丁目						
補助事業の成果の目標	<p>当該水路は、上下流と比較し水路幅が狭く、用排水が溢水する状況にある。このため、用排水の管理が容易でなく、また耕作地への浸水、道路の冠水が発生しており、周辺耕作者及び周辺住民から改良の要望があがっている。</p> <p>今回、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で水路を整備することにより、溢水を防除し、かつ用排水の管理を容易にするものである。</p> <p>参考指標 過去の溢水回数 2～3回/年</p>						
補助事業の内容	改良工事 延長L=86.3m(平成26年度)						
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度			計
	事業費	円 1,139,000	円 2,199,000	円 10,790,000	円	円	円 14,128,000
	交付金額	1,139,000	2,199,000	10,790,000			14,128,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>今回整備を行った水路周辺の耕作者・住民にヒアリングを実施したところ、水路溢水の軽減、用排水管理の負担軽減を実感しているとの回答を得た。整備後、溢水は一度も起きていない。</p> <p>地域住民に対しては、地元説明会、工事看板で特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを周知している。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分量及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：平島地区農道）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	福岡県行橋市東泉3丁目						
補助事業の成果の目標	<p>本地区は、現状、農道の幅員が非常に狭く耕作機械等の通行について、大変苦慮している地区である。周辺地権者や区長より、近年の耕作機械の大型化に伴い、脱輪、転落事故が増えていることから当該事業を出来得る限り早期に計画・実施してほしいとの要望があったため、事業を実施するもの。調整交付金事業で農道を整備することにより、耕作機械の農道通行の安全性を確保し、農業の振興に寄与するものである。</p> <p>※参考指標 脱輪・転落事故回数 H24～H26 5回(区長より聞き取り)</p>						
補助事業の内容	改良工事 延長L=146.0m 幅員W=3.0m						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 7,120,000	円	円	円	円	円 7,120,000
	交付金額	7,049,000					7,049,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>今回、整備を行ったことにより通行が容易になり、農道を利用開始した耕作者にヒアリングを実施したところ、交通の利便性・安全性の向上、農作業の効率の向上を実感しているとの回答を得た。整備後、脱輪、転落事故は一度も起きていない。</p> <p>地域住民に対しては、地元説明会、工事看板で特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを周知している。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：環境パトロールカー）整備事業						
補助事業者名	行橋市長						
実施場所	福岡県行橋市内全域						
補助事業の成果の目標	環境パトロールカーとして電気自動車を導入し、市内の保育所や小中学校の環境対策授業及び地域イベントへの参加並びに不法投棄の監視巡回を強化し、市民の生活環境の保全並びに、環境保全への意識向上を図る。 また、公害及び自然災害発生時のモニタリングの実施や、災害時及び停電時の照明や電気機器の使用に対応できる緊急車両として活用するなど、生活環境保全の強化を推進する。						
補助事業の内容	環境パトロールカー 1台						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 4,006,790	円	円	円	円	円 4,006,790
	交付金額	4,006,000					4,006,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>日々の走行距離や巡回場所等を運転日誌に記載しており、その実績に基づいて評価を行ったところ、不法投棄の監視巡回回数が増加しており、生活環境保全強化が図られた。</p> <p>また本車両で市内を走行することにより、「次世代自動車普及推進都市宣言」の広報活動が行えたと共に、市内の保育所や小中学校の環境対策授業及び地域イベントへ参加し、市民の環境保全への意識向上を図ることができた。</p> <p>市民への周知の実施状況については、車両購入完了後、市報に調整交付金を活用し本車両を購入したことを掲載。また、車両にも「特定防衛施設周辺整備調整交付金」のステッカーを貼り付け、走行中においても地域住民への広報活動を行っている。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。